



# 井上道義の 未来だった今より

## 第九を平壤で

いしかわスクエア

2011年10月に平壤の国立交響楽団に呼ばれ、ドボルザークの「新世界より」などを指揮したことは、以前このコラムにも書いた。その報告は僕のサイトで動画として発表してあるが、今度は、この3月、かの国での「第九」初演を指揮するため、再度招待を受けた。

僕は20年ほど前にNHK教育テレビで「第九を歌おう」という番組を受け持ち、再々放送まであった経験もある。今回、「楽員たちが今までに招聘した指揮者たちと違って井上とはしっかり音楽ができたと言うので、ぜひもう一度来てほしい。ついではその『第九』をやってくれ」と言われ、批判もあるだろうが行くことにした。日本人のソリスト2人を同行、現地のソリストとともにかの国の合唱団と演奏する。

1989年、バーンスタインがベルリンの壁の崩壊時に演奏した「第九」は、強い印象が残って

いる。多くの価値観の違いを持つアジアの国々の見えない壁、見える国境を、僕が生きている間に低くできるとは安易に考えてはいない。しかし愛するショスタコービチが、ソ連の体制内で自分の考えを信じ、力強い作品を残したように、僕も今考えられる限りの理想主義に徹して運命に向かいたい。

オーケストラという組織も、本当に一体になれるのは、実は音楽会の音を出している間だけと言ってもよい。例えばOEKの内部もそれぞれの見る理想はかなりバラバラだ。国と国、民族と民族の間でも同じで、平和と言う言葉一つとっても、みな異なる内容を持つようだ。それでも、そんな人々が一瞬でもうそ偽りのない一体感を持てるのが真の舞台、真の音楽だ。人と人の関係はそれでよく、それ以上は恋愛関係でも難しい。

(オーケストラ・アンサンブル)  
金沢音楽監督

前橋の業者を誘致  
県産ブランド牛「能登牛」の消費拡大に向け、前橋市の畜産業者「赤城畜産」(平林明社長)が、能登町の内浦放牧場で、能登牛を大規模飼育できる牧場を整備する。  
県は、約2年後に控えた北陸新幹線金沢開業に合わせ、能登牛の知名度アップと出荷拡大のために企業誘致を進めている。県生産流通課によると、赤城畜産は今年7月から、牛舎など7棟を、県の所有する内浦放牧場につくる。2015年4月には年300頭の出荷態勢を整える計画という。県は年1千頭の出荷をめざしている。しかし、出荷

増頭だけでは目標達成は難しい」として、県外の業者と調整を進めていた。  
赤城畜産は近く、計約2億4千万円を出資して「能登牧場(仮称)」を設立する。平林社長(62)は「自然が豊かな土地で育てることが牛にとっても良く、おいしいと支持されるよう努力したい」と話す。  
(目黒隆行)

### 短信

◆九条の会・小松 第25回「集い」 26日13時16分、小松市本町4丁目の小松教育労働会館。池田喜久代表が「沖繩この40年」と題し、昨年末に訪れた沖繩の実情やオスプレイ配備反対運動などについて話す。  
◆借金・生活困りごと相談会 26、27日13時～18時、金沢市西念十丁目のNPO法人「金沢

氷  
今日の朝  
地面がつるつるした  
よく見ると  
水ができています！  
うれしい  
まち合わせ場所には  
こおった水たまり  
カケラを落とすと  
バリーン！  
ガラスみたいになれた  
きりぎりしって  
まるで雪のけっしゅうみた  
だ

金沢市 俊小5年  
西川 愛美

〈係から〉 このコーナーでは小学生の詩を募集しています。あて先は〒920・0981 金沢市片町1の1の30 朝日新聞金沢総局「小さな目」係まで。

相談も可。  
◆わくわくワイワイコンサー  
ト 2月3日14時15分、小松市大島町の市民センター(0761・24・6101)。市内の市民劇団、大杉ミュージカルシアターの公演「よくほり天狗(てんぐ)」4人とコンサート。

金沢市片町1丁目の片町1地区交流センター、野々市市末松の石川障害者職業能力開発校(076・248・2235)の陶磁器製造科で、学生訓練生10人の九谷焼作品約100点などを展示。初日は13時から、最終日は14時まで。土曜日は20時まで。